

平成 29 年度 長野県立歴史館 考古学講座

「ヒトの交流・モノの流通」

やけまち
でしょ



いいえ、
かつさかです

やけまち かつさか 焼町VS勝坂

～競い合い、高め合う縄文中期の土器装飾～

縄文時代中期（5,000年あまり前）の華やかな土器、
その2大潮流である「流れるもよう」と「区画もよう」。
両者が接する長野県中央部では、互いの土器を意識しながら、より豪華な土器製作へと、技を高めていきました。

日 時：9月30日（土）13時30分～15時

場 所：長野県立歴史館「講堂」

受講料：観覧料が必要です

※講座のみ（常設展含む）300円、講座終了後の展示解説参加の方は500円

受 付：当日12時30分より、エントランスホール（先着200名）

※高校生以下、障がい者手帳などの交付を受けている方と介護の方は無料

<問い合わせ先>

長野県立歴史館 考古資料課

電話 026-274-3992 Fax 026-274-3996

Eメール rekishikan-koko@prewf.nagano.lg.jp

焼町式土器（御代田町川原田遺跡）重要文化財

勝坂式（藤内式）土器（富士見町藤内遺跡）町指定文化財